

お 知 ら せ

1. 件 名

台風10号による出水における岩屋ダムの洪水調節効果について

2. 概 要

平成15年8月8日から9日にかけて、台風10号の通過に伴い、岐阜県は大雨に見舞われました。

木曾川水系馬瀬川の岩屋ダム流域では、8月8日夕方から9日午後までに、累計約118mm（岩屋ダム流域平均雨量）の降雨を観測しました。特に、9日9時の時間最大雨量は約16mm、9日7時から9日10時までの3時間雨量は約37mmを記録しました。

この降雨により、岩屋ダムでは、9日11時05分に洪水流量（300m³/s）に達し、その後、流入量は、9日11時22分に最大約459m³/sとなりました。

岩屋ダムの貯水容量内への洪水貯留により、下流基準地点（東沓部地点^{ひがしくつべ}）において、約1.7mの水位低減があったものと推定され、下流河川の洪水を軽減しました。

3. 雨 量

流域平均雨量

約118mm

（降り始めからの累計値：7日24時から9日16時まで）

ダム地点雨量

128mm

（降り始めからの累計値：7日24時から9日16時まで）

4. 岩屋ダム洪水調節量

ダム最大流入量

9日11時22分

約459m³/s

ダム最大流入時放流量

9日11時22分

約300m³/s

洪水調節量

約159m³/s

5. 下流基準地点での効果推定値

下流基準地点である東沓部地点では、9日の出水による最高水位は、2.99m、流量は約214m³/sでした。

ダムが無かった場合の水位は、約4.72m、流量は、約635m³/sと推定されます。

(東沓部ピーク時の岩屋ダム直下流の馬瀬川第二ダムからの馬瀬川への放流量は、約1m³/s。)

ダムの貯水容量内に洪水を貯留することによって、東沓部地点で約1.7mの水位低減効果があったものと推定されました。

※東沓部地点 岩屋ダム下流約9.3km、飛騨川本線合流前約7.5kmの地点
住所：岐阜県益田郡金山町東沓部字前田会津1458

6. 配布先

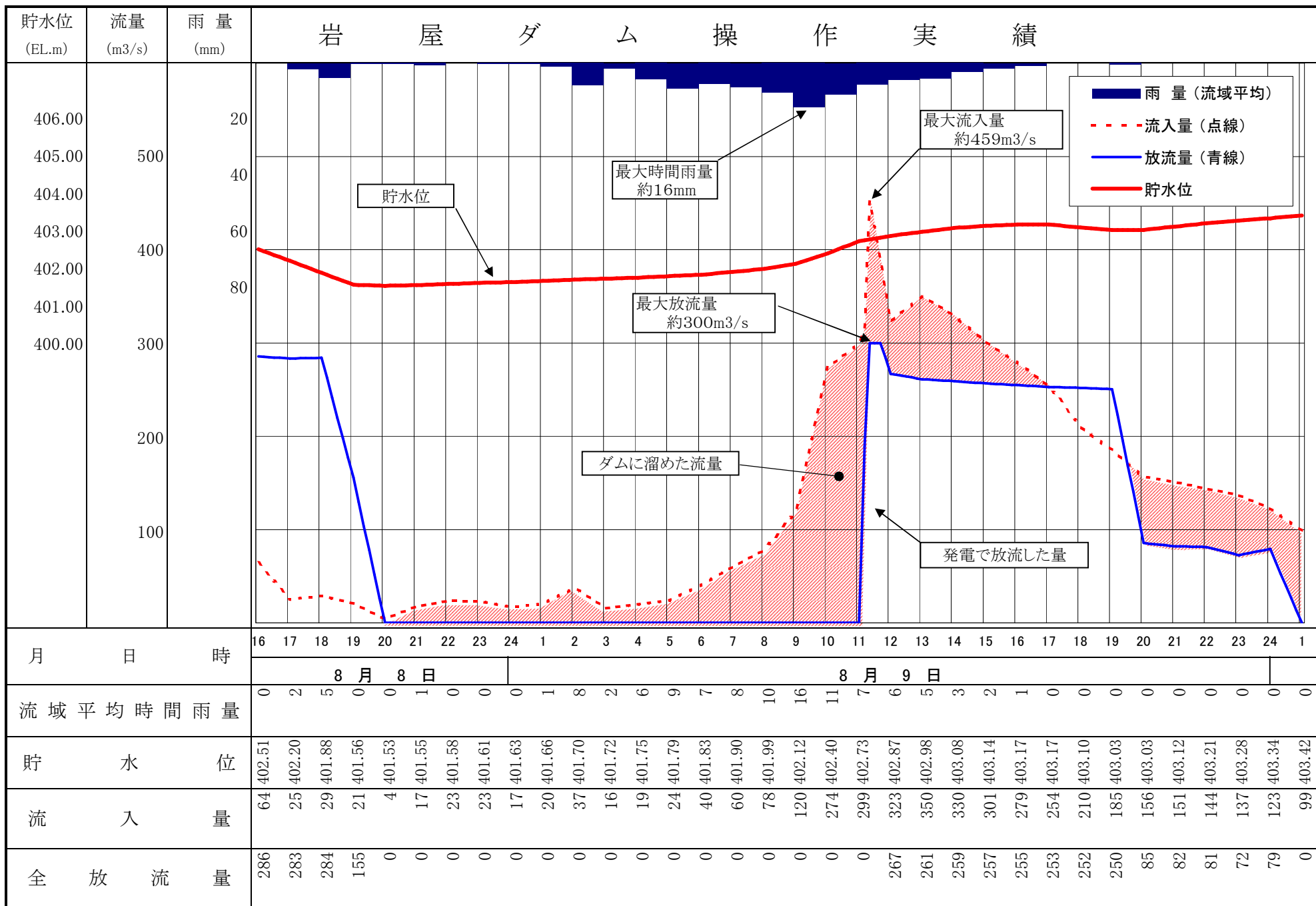
中部地方整備局記者クラブ

岐阜県政記者クラブ

7. 問い合わせ先

水資源開発公団 岩屋ダム管理所 管理課長 滝沢 元一
電話 0576-35-2339

国土交通省 中部地方整備局 木曾川上流河川事務所
流水調整課長 大塚 康司
電話 058-251-3234



岩屋ダムの洪水調節状況(東沓部地点)

左岸

右岸

岩屋ダムが無かった場合に想定される水位 TP250.72m

今回の出水による水位 TP248.99m

ダムによる水位低減効果

約1.7m

TP 246.00m

※東沓部地点:岩屋ダム下流約9.3km、飛騨川本川合流前約7.5kmの地点
(住所:岐阜県益田郡金山町東沓部字前田会津1458)

